



青き楓

島高だより
平成24年6月

(高総体特別号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

県高校総体特集



昨年に続き

優勝旗4本

| | |
|-------|------|
| レスリング | 弓道女子 |
| 剣道男子 | 剣道女子 |

今年も魅せた島高魂

教頭 鶴田 勝也

今年の高総体は、「志高く 舞い 剛くあれ 島高生」の本校スローガンのもと、6/1の開会式から始まり、6/2～5の4日間各地で熱戦が繰り広げられました。開会式での我が島高選手団の行進は、県下最多の4本の優勝旗を掲げ、堂々とした歩きぶりで、高校生らしい凛とした姿をお見せできたのではないかと考えています。また、各種競技においても、果敢に挑む島高生の姿は、周囲に元気と爽やかな感動を与えてくれました。

今年は、剣道部男子、剣道部女子、レスリング、弓道女子で昨年の4本の優勝旗を譲らずそのまま持ち帰り、今年も島高旋風を巻き起こしてくれました。4チームが同時に連覇を達成することは、並大抵のことではなく、相当なプレッシャーを撥ね退け見事に勝ち抜いたことは、まさに賞賛に値するものです。そこに至るまでは、生徒諸君の地道な努力は勿論のこと、陰で支えてくれた顧問やコーチ、保護者の方の励ましがあって実を結んだものと推察します。

今回、各種競技を観戦して、あらためて島高生のよさを体感できました。本校もバレー男子の会場校でしたが、野球部を中心とした応援リーダーが自然と形作られ、一般生徒の大声援が選手の活躍を後押ししてくれました。まさしく“チーム島高”として、選手・応援が一体となって試合に臨んでいる姿は圧巻でした。また、大差が開いているにもかかわらず、最後まで粘り抜く姿や逆に勝利が確定したにもかかわらず、相手チームに誠心誠意応えようとして全力で戦っている姿、さらに試合前にゴミ拾いや靴並べをして、ボランティア精神を発揮するとともに、自らの心を磨く姿に大きな感銘を受けました。まさしく、今年度の本校のテーマである“品格ある島高生たれ”にふさわしい姿ではなかったかと思えます。

この高総体を通して、選手・部員、そして応援生徒共に大きなものを感じ取り、また一つ人間的な成長を遂げたものと思えます。

最後に島高を応援していただいた保護者の皆さま、同窓生の方、地域の方、そして、生徒諸君、教職員、すべての“チーム島高”の皆さんに感謝します。

弓道部女子

主将 松田 紗季

私たち弓道部女子は、団体優勝をすることができました。二連覇もかかっている、プレッシャーがある中での試合でしたが、みんなで優勝することができ、本当にうれしいです。こうやって優勝できたのは、今まで支え合い励まし合いながら練習してきた仲間や熱心に指導して下さった先生方、陰で支えてくれた家族、そしてこの学校よりも気持ちのこもった応援のおかげです。これから、九州大会、インターハイとありますが、弓道ができることに感謝してこれからも頑張っていきます。たくさんの応援ありがとうございました。



2年連続9回目

剣道部男子

主将 藤野 麗太



2年連続8回目

僕たちは今回の高総体でチーム一丸となって戦い、団体の優勝し、インターハイへの切符を勝ち取ることができました。これもいつもご指導して下さる先生方や支えて下さる皆様のおかげだと思っています。とても感謝しています。これからは部員全員の目標である「全国制覇」が達成できるように、九州大会や玉竜旗、インターハイに向けて、さらに稽古に励んでいきます。たくさんの応援ありがとうございました。そして、これからも応援よろしくお願います。

レスリング部

主将 内田 匠



6年連続28回目

レスリング競技は、6月2日～3日に島原工業高校体育館で行われ、団体戦は島原翔南高校に7対0、大村工業高校に6対1、島原工業高校に5対2で勝ち、団体6連覇を達成することができました。個人戦では6階級で優勝することができました。3年生を中心にチームみんなが団結したことと皆さんの応援のおかげで勝つことができたと思います。これからは九州大会とインターハイを控えているので、チーム全員で昨年のインターハイ団体3位を越えられるように頑張っていきます。応援ありがとうございました。

剣道部女子

主将 阪本 皇子

高総体では島高剣道部一丸となって戦い、念願だったアベック優勝を果たし、男女でインターハイの切符を手に入れることができました。私たち女子は、1月の全国選抜予選で負けてとても悔しい思いをし、これまで死に物狂いでやってきました。今回優勝し雪辱を果たすことができ、本当にうれしく思っています。しかし、全国制覇を目標にしている私たちにとって、今回の優勝は通過点にすぎません。指導して下さる先生方や支えて下さる多くの方々への感謝を忘れず、今後も頑張っていきますので、応援よろしくお願います。



5年連続10回目

平成24年度 県高校総体結果

またもや "島高旋風" 巻き起こる

| | |
|--------------|--|
| ソフトテニス部 男子 | [団体] <2回戦> 対 長崎西 3-0 勝 <3回戦> 対 対馬 2-0 勝 <準々決勝> 対 長崎日大 2-1 勝 <準決勝> 対 西陵 1-2 負 3位 [個人] 山本聖一郎・城谷将太組、八木郁哉・植松敬太組、植木孝史・本田実佐希組 ベスト32 |
| ソフトテニス部 女子 | [団体] <2回戦> 対 諫早農業 3-0 勝 <3回戦> 対 佐世保西 1-2 負 [個人] ダブルス 小林昌子・黒田美咲組 ベスト32 |
| テニス部 男子 | [団体] <1回戦> 対 島原中央 2-1 勝 <2回戦> 対 海星 0-3 負 |
| テニス部 女子 | [団体] <1回戦> 対 諫早商業 2-1 勝 <2回戦> 対 佐世保北 0-3 負 [個人] シングルス 森美月・有馬真理・大場琴未 ベスト32 ダブルス 森美月・大場琴未組 ベスト16 有馬真理・本田沙弥組 ベスト32 |
| バスケットボール部 男子 | <1回戦> 対 九州文化学園 80-70 勝 <2回戦> 対 五島 64-52 勝 <3回戦> 対 大村 62-82 負 ベスト16 |
| バスケットボール部 女子 | <2回戦> 対 五島海陽 125-48 勝 <3回戦> 対 長崎東 74-47 勝 <準々決勝> 対 純心 59-90 負 ベスト8 |
| レスリング部 | [団体] <第1試合> 対 島原翔南 7-0 勝 <第2試合> 対 大村工業 6-1 勝 <第3試合> 対 島原工業 5-2 勝 優勝 → インターハイ、九州大会出場 [個人] 55kg級 伊藤奨 60kg級 永石洸 66kg級 本多正龍 74kg級 松坂誠應 84kg級 佐藤聖翔 120kg級 内田匠・・・ 優勝 → インターハイ、九州大会出場 50kg級 岡田幹大 60kg級 前田智之・・・準優勝 → 九州大会出場 55kg級 松本郁朗 84kg級 吉田 翔 96kg級 喜多健・・・3位 |
| 剣道部 男子 | [団体] 《決勝トーナメント1回戦》 対 長崎北 4-0 勝 《準々決勝》 対 長崎南 4-0 勝 《準決勝》 対 南山 3-0 勝 《決勝》 対 西陵 2-1 優勝 → インターハイ、九州大会出場 [個人] 上村貴弥 優勝 → インターハイ、九州大会出場 渡邊賢人 3位 → 九州大会出場 藤野麗太 ベスト8 → 九州大会出場 本田拓真 ベスト16 |
| 剣道部 女子 | [団体] 《準々決勝》 対 島原商業 4-0 勝 《準決勝》 対 長崎商業 4-0 勝 《決勝》 対 西陵 2-0 優勝 → インターハイ、九州大会出場 [個人] 山崎瑠美 優勝 → インターハイ、九州大会出場 土居裕佳 3位 → 九州大会出場 阪本皇子 ベスト8 → 九州大会出場 本田七菜子 ベスト16 |
| ラグビー部 | <1回戦> 対 長崎南 7-47 負 |
| 卓球同好会 | [団体] <1回戦> 対 長崎西 0-3 負 |
| バレーボール部 男子 | <2回戦> 対 佐世保高専 1-2 (26-28, 25-22, 22-25) 負 |
| バレーボール部 女子 | <1回戦> 対 五島南 2-0 (25-5, 25-16) 勝 <2回戦> 対 長崎明誠 2-0 (25-18, 25-20) 勝 <3回戦> 対 創成館 0-2 (9-25, 10-25) 負 ベスト16 |
| サッカー部 | <1回戦> 対 上五島 0-4 負 |
| 水泳部 | 男子200mバタフライ 吉田光輝 6位 → 九州大会出場 |
| 体操部 男子 | [団体] 3位 [個人] 高見信広 11位 → 九州大会出場 |
| 体操部 女子 | [団体] 2位 [個人] 江副暖子 9位 → 九州大会出場 、松本里紗子 10位 → 九州大会出場 |
| 陸上競技部 | 男子走り幅跳び 田口敬士 6位 → 北九州大会出場 男子三段跳 西山将平 6位 → 北九州大会出場 |
| 弓道部 男子 | [団体] 《1次予選》 1回目 8中 2回目 12中 《2次予選》 18中 敗退 |
| 弓道部 女子 | [団体] 《1次予選》 1回目 10中 2回目 13中 《2次予選》 21中 《決勝リーグ》 4勝2敗 優勝 → インターハイ、九州大会出場 [個人] 太田七海 優勝 → インターハイ、九州大会出場 |



九州大会・インターハイに出場する選手を、引き続き応援しましょう!